

各 位

京都市本能老人デイサービスセンター  
( 担当 / 森賢一・吉田有一郎・村橋幸 )

### ケア向上のためのアンケート集計結果についてのご報告

日頃は当センターの運営につきまして、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

10 月下旬にご協力いただきました「ケア向上のためのアンケート」について、その集計結果及び今後の取組みについて、下記のとおりご報告させていただきます。

#### 記

#### 1 アンケートの回答状況について

配布数 144 通に対しまして、有効回答数は 76 通でした。( 回答率 52.7% )

回答いただいた方の内訳は、ご本人様 30 通 ご家族様 46 通です。

( ご本人様、ご家族様と一緒に回答いただいた件につきましては、ご家族様として計算しています。 )

#### 2 送迎について

99%の方が、安心もしくは、まあまあ安心と感じられております。今後も、より丁寧な運転と、乗車支援を心がけていきます。

#### 3 職員の対応について

全ての方に、言葉づかい・態度について丁寧だと感じていただいております。私たちの支援の根幹にある、丁寧な挨拶、丁寧な言葉遣い、丁寧な対応を今後もつづけていきます。

#### 4 プライバシーの保護について

信頼関係を築くうえで、情報を外部に漏らさないということは必須条件であり、制度上においてもプライバシーを守ることは義務でもあります。個人情報保護法や介護保険法等を遵守し、厳密に取り扱いができるよう研修や日々の点検を継続してまいります。

#### 5・6・8 入浴について

回答いただいた方の、ほぼ全てが「安全」に「ゆったり入浴」できていると感じておられます。

しかし、未回答の方が 20%おられました。ご家族様に回答いただいた場合、どのように入浴されているか、現場を見ておられないため、回答できなかったからだと思います。私たちの課題として、ケアの様子や支援方法なども、分かりやすくご家族様に伝えていく必要があると感じました。連絡帳や送迎の時間を利用し、できるだけご利用者様の表情や様子を伝えられるよう改善してまいります。

また、ご利用者様が湯上りの飲み物の提供を楽しみにされている事も分かりました。時間の使い方については、午前に入浴をし、午後からはレクリエーションに参加することを望まれている方が多かったです。デイサービスのお風呂は、一般的な家庭のお風呂とことなり、銭湯のように仲の良い方どうしコミュニケーションをとりながら入浴できる特徴もあります。誰もが楽しくゆったり、満足できる入浴を目指してまいります。

## 7 食事について

とても満足に感じておられる方が42%、まあまあ満足と感じておられる方が44%おられます。食事の満足度は年々向上しているように感じております。味・量の向上だけでなく、音楽や雰囲気にも気を使い、各テーブルで職員も一緒にお話しながら食事をし、より楽しく、より美味しく、より満足いただけるよう「食事の場」の充実に力を入れたいと思います。

## 9・10 デイサービスで一番楽しいことと、好きなレクリエーションについて

デイサービスに来る楽しみでは、職員や他のご利用者様とのコミュニケーションが一番多く、他者との交流を楽しみにされていることが分かりました。レクリエーションに関しては、昨年同様ご意見が分散した結果となりました。皆様が、多種多様に楽しみを感じて過ごされております。今年度は、ご利用者様にもレクリエーションを決める会議に参加していただき皆様のご意見を聞きながら一緒に考える取り組みをしています。ご自身の意思を伝えることが困難な方につきましては、昔お好きだった歌や趣味、得意とされていたことなど、ご家族様からの情報が個別ケアのヒントになります、今後もご協力お願いいたします。

### 1.1 施設で最も改善してほしいこと

ご意見が分かれました。それぞれに改善して欲しいポイントが違うため、個別での対応をしていきます。可能な限り対応したいと考えておりますので、遠慮なく申し付けください。

### 1.2 行事や家族交流会について

半数余りの方が未回答でした。また、すべての項目で「思わない」を選ばれた方の割合が多かったです。ご家族様が参加できる行事については、ニーズは多くありませんが、毎回数名のご家族様に参加いただいております。今後も年に数回、ご家族様も参加していただける行事を行う予定です、無理の無い範囲でご参加いただければ幸いです。

地域交流については、現段階ではあまり必要性を感じておられないようです。しかし、今後さらに核家族化、高齢化が進むにつれ、地域の支えがますます重要になると予想されます。暮らしの安心の為、本能のみならず、法人全体で力を入れていきたいと思っております。

介護の勉強会については、介護者の腰に負担の少ない身体介助法や、認知症ケアについて勉強する機会を持ちたいと思っておりますが、先に述べたとおり、ご家族様が参加いただける時間を設定するのが難しく本年度も実施することができませんでした。送迎時などに、体操や在宅でのケアの方法等を可能な限りお答えしますので、ご遠慮なくお聞きください。

### 1.3 通所介護計画について

昨年と同等の結果でした。本年度は、少人数の方を対象に、ご本人様に参加いただきながら計画を作成し、ご自分で作った計画の目標を、ご自身の意思で実行できるよう支援したいと考えています。

### 1.4 今後、実施してほしいサービスについて

「夕方の時間延長」と「デイサービスでの宿泊」を回答される方が多かったです。昨年から計画しております、延長サービスがまだ実現できていない状況ですが、在宅生活を少しでもながく継続する為には必要なサービスだと確信しています。介護保険制度が未成熟で不安定ななか、実施までの困難はありますが、来年度中には実現したいと考えておりますので、もうしばらくお待ちください。

アンケートにご協力いただき、まことにありがとうございました。